

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

10

平成18年11月発行

くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局
安全・安心まちづくり推進課
電話 045(210)1111
(内線3507・3515)
FAX 045(210)8953
E-mail: anzenansin@pref.kanagawa.jp
ホームページ
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzenindex.htm>

神奈川あいさつ^{いっしん}新運動

元気なあいさつで明るい地域社会をつくろう
子どもの教育はあいさつから
地域の安全・安心もあいさつから
コミュニケーションもあいさつから

平成18年度

かながわ安全・安心まちづくり「標語」「ポスター」 コンクールの入賞作品が決まりました!

知事を囲んで「ポスター」コンクールに入賞された皆さん



知事を囲んで「標語」コンクールに入賞された皆さん



「ポスター」コンクール 小学生低学年の部
最優秀賞作品 町井 祐紀
海老名市立有鹿小学校(3年生)



「ポスター」コンクール 小学生高学年の部
最優秀賞作品 神野 遥
横浜市立西柴小学校(5年生)



「ポスター」コンクール
中学生の部
最優秀賞作品 石渡 有希
横須賀市立田浦中学校(2年生)

『あいさつは みんなを守る 町のかぎ』

「標語」コンクール最優秀賞作品 吉本 一樹 伊勢原市立竹園小学校(5年生)

安全・安心まちづくりを県民総ぐるみの運動として広げていくため、県民の皆さんに親しみやすい「標語」と「ポスター」のコンクールを実施した結果、次の作品が入賞しました。これらの作品は、安全・安心まちづくり事業の広報啓発資料等で広く活用していきます。

標語 優秀賞作品

小学生の部

「地いきの目 ぼくらを守る 大きな力」 石野 竜成 厚木市立三田小学校（5年生）
 「いっしょだよ どこにいくにも ぼうはんベル！！」 佐藤 千香 厚木市立戸田小学校（1年生）

中学生の部

「スタート防犯、ストップ犯罪」 和田 美咲 相模原市立鷺野森中学校（2年生）
 「声かけて 鍵かけて 防犯つねに 気にかけて」 小佐野由貴 茅ヶ崎市立梅田中学校（3年生）

高校・一般の部

「犯罪の 芽を摘むみんなの 目と連携」 鈴木 邦義 横須賀市
 「防犯は きれいな街と 元気な あいさつ」 中島 龍雄 横浜市磯子区

ポスター 優秀賞作品

小学生低学年の部



常田 光理
 横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
 （1年生）

小学生高学年の部



杉本 理菜子
 海老名市立有鹿小学校
 （5年生）

中学生の部



岡野 悠里
 川崎市立住吉中学校
 （3年生）



犯罪被害者のために何ができるか、一緒に考えませんか。

「犯罪被害者週間」国民のつどい 神奈川大会開催

11月25日～12月1日は「犯罪被害者週間」です。

誰もが犯罪被害者になる可能性があります。犯罪被害者等が置かれている状況について、神奈川県民、さらには全国民が正しく理解し、関係施策の推進に当たり理解と協力が得られるよう、「犯罪被害者週間」にあわせて、全国的な啓発事業の一環として、「犯罪被害者週間」国民のつどい神奈川大会を開催します。テレビ等でご活躍の大澤弁護士の基調講演、犯罪被害の当事者となり生命の大切さを訴える活動を行っている鈴木共子氏の基調報告、パネルディスカッションを行います。皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。



講師 大澤孝征氏

日時 平成18年11月29日（水） 午後1時30分から午後4時50分まで
場所 はまぎんホール ヴィアマーレ 横浜市西区みなとみらい3-1-1
内容 基調講演 「犯罪被害者等支援の現状と課題」 講師 大澤孝征氏（弁護士）
 基調報告 「犯罪被害者の声」 鈴木共子氏（「生命のメッセージ展」代表）
 パネルディスカッション

主催 内閣府 神奈川県 神奈川県警察

申込み・問い合わせ先

・神奈川県 安全防災局 安全・安心まちづくり推進課
 電話 045-210-3507又は3515 FAX 045-210-8953
 E-mail anzenansin@pref.kanagawa.jp
 ・内閣府「犯罪被害者週間」国民のつどい事務局
 電話 03-3423-4180 FAX 03-3423-4108

申込みホームページ <http://www.the-convention.co.jp/hanzaihigaisya/>

安全・安心まちづくり旬間 (10月11日～20日)

～様々なイベントが開催されました！～

「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」では、10月11日～20日までを「安全・安心まちづくり旬間」と定めております。期間中は、防犯に関する次のような催し(安全・安心まちづくり旬間事業)が実施されました。

第2回かながわ防犯フェスティバル

10月11日、12日の両日、クイーンズスクエア横浜「クイーンズサークル」にて、多くの方々にご来場をいただき、第2回かながわ防犯フェスティバルが開催されました。旬間の開会式をはじめ、警察音楽隊による演奏、くらし安全指導員による防犯教室、クイズラリー、パネル展示、ジャグリングショーなどが行われました。



安全・安心まちづくりネットワーク交流集会

10月14日、横浜市健康福祉総合センターにて、安全・安心まちづくりネットワーク交流集会が開催されました。第1部では、安全・安心まちづくり「標語」「ポスター」コンクールの表彰式を行いました。

第2部では元神奈川県警察の刑事で僧侶になられた大島龍穂師による基調講演、第3部では3つの分科会に分かれて防犯活動団体の皆さんによる活発な意見交換会が行われました。



県内一斉防犯パトロール

10月11日～20日の旬間中に実施された「県内一斉パトロール」には、多くの県民の方々が参加されました。旬間初日に横浜市南区弘明寺商店街で行われたパトロールには、松沢知事、渡辺横浜市南区長、池南警察署長が参加しました。



犯罪に強いまちづくり講演会

～犯罪に強いまちづくりの明日が見えてくる～

10月12日に南足柄市役所、10月16日に横浜市西公会堂で、安全・安心確保の基本や先進事例等について学ぶ、犯罪に強いまちづくり講演会を開催し、多くの方々にご参加いただきました。



地域防犯活動実践講座

10月20日には、かながわ労働プラザにて、地域防犯活動実践講座が開催され、県内各地から自主防犯活動のリーダーをはじめとする約230名の方々が集まり、地域防犯活動に必要な考え方や方法を学びました。

この講座は防犯活動リーダー養成講座の初日の全体会も兼ねており、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。



警察からの防犯アドバイス

チカンにご注意!

チカン等の性犯罪の被害に遭われた方の多くは、深夜の帰宅途中、人通りの少ない場所に差しかったところを狙われています。

会社・学校等からの帰り道では・・・

深夜の帰宅は家の人に迎えに来てもらう、あるいはタクシーを利用するなど、一人歩きは避けましょう。

遠回りでも明るい道を利用しましょう。

歩きながらのヘッドホン、携帯電話の使用は周囲の音が聞こえず危険です。

防犯ブザーは、万に備えて手に持って歩きましょう。

一人暮らしの方へ～在宅中の来訪者にもご注意!

家(部屋)に入る前、もう一度周囲を確認しましょう。相手を確認してからドアを開けることとし、ドアチェーンを外さないで対応しましょう。

就寝前、もう一度、戸締まりを確認しましょう。

一人暮らしと悟られないためにこんな工夫も・・・

男性の洗濯物(下着)を干しておく。

表札に男性の名前を記載しておく。

～南足柄市立岡本小学校の取組み～



岡本小学校では、あらゆる教育活動の中で、「からだキビキビ・こころワクワク・えがおキラキラ」を合言葉にして、児童一人ひとりの理解を深め、安心と喜びのある楽しい学校づくりを心掛けています。中でも、防犯に関する安全教育については、「自分の命は自分で守る」という危険予知能力・危険回避能力を子どもたちに育むことをねらいとして、学校・家庭・地域の協働で進めています。この取組みについて、担当の中村公子先生に伺いました。

最初に、健康委員による委員会活動として、全校児童や地域の皆さんに防犯を呼び掛けることにしました。児童自身が台本を考え、演じるという、まさしく“自作自演”の『防犯寸劇』で、不審者役と子ども役とに分かれて演じることにしました。

第1幕 おかもと安全サミットの巻

今年度の学校保健委員会は、安全指導と安全対策をテーマに『おかもと安全サミット』と題して6月23日(金)に開催しました。子どもたちは、PTA、学校評議員、地域の防犯ボランティア「OKAMOTO安全サポート隊」の皆さんなど、総勢70人以上の大人の目の前で、一生懸命に練習してきた『防犯寸劇』を見事に演じ、研究協議では活発な意見交換が行われました。



第2幕 安全・安心まちづくりフォーラムの巻

また、足柄上地域で活動している防犯ボランティアの皆さんが初めて一堂に会した「足柄上地域安全・安心まちづくりフォーラム」が、9月30日(土)に足柄上合同庁舎で開催されました。その中で、子どもたちが演じた『防犯寸劇』は、参加者103名の視線をくぎ付けにし、子どもの視点から見た「防犯」に多くの拍手が送られました。

子どもたちの笑顔と堂々とした振る舞いを会場の端から見ていると、『防犯寸劇』に取り組むことに決めてから今日までの努力の様子が思い起こされました。「みんな、よく頑張ったね!」と抱きしめてあげたいくらいでした。

第3幕 これからの岡本小児童の巻

寸劇を通じて感じたこと、体験したことなどすべてが、子どもが育っていくための「糧(かて)」になると私たちは信じています。岡本小学校の児童の「からだキビキビ・こころワクワク・えがおキラキラ」がまさに実践された今回の『防犯寸劇』でしたが、これからの子どもたちの成長過程に根付いていくことが、私たち教師の願いです。



児童の感想

みんなの前でアンケートのまとめを発表したり、防犯寸劇をしたことは、はずかしかったけど、自分に自信がついたような気がします。

フォーラム参加者の声

自分たちの地域の児童がこんなに素晴らしい寸劇ができたことに驚かされました。こうした安全学習が他の学校にも広まるといいですね。

校長先生のことば

最近、OKAMOTO安全サポート隊や自治会、PTA地区委員の方々による登校、下校時のあいさつ運動やパトロールの際に、「私たちのためにありがとうございます。」との声が子どもたちから出ています。地域の方が見守ってくれているという『安心感』が子どもたちの心に宿ってきています。その『安心感』とともに「自分で自分の身を守る意識づくり」の向上を目指しています。